

■山梨県ゆかりの俳人「山口素堂」。素堂は甲斐の生んだ巨匠で、江戸時代には、おそらく唯一の全国区型俳人と言えるでしょう。しかし、代表句である「目に青葉山ほととぎす初鰹」以外の句はあまり注目されていません。今回の展示会では素堂の晩年の作品集『とくとくの句合』を取り上げ、今まで知らなかった素堂の多様な文学世界を提案しています。



MUSEUM

ミュージアム都留 & 増田誠美術館

開館時間 9時～17時
 ※増田誠美術館は16時30分まで
 観覧料 一般 300円(210円)
 高・大学生 200円(140円)
 小・中学生 100円(70円)
 ※()内は、20名以上の団体料金です。
 休館日 月曜日、第3火曜日
 祝日の翌日、年末年始(12/29～1/3)
 問合せ先 ミュージアム都留 ☎45-8008



芭蕉のさと企画展

『甲州俳諧展』

そどう くあわせ 素堂と句合

開催中!

会期 2月12日(日)まで

都留文科大文学科近世文学研究室において、『とくとくの句合』を一つ一つ丁寧に読み進めるという地道な作業を重ね、その成果が今回の展示となり結実しました。新たな素堂顕彰は都留市から!という意気込みで取り組んだ展示会でもあります。ぜひ、ご来館ください。

元禄から享保(1600年代末～1700年代)にかけて、句合形式が文学史の重要な主張の場となることになりました。むしろ江戸時代はじめから、この形式は重要な形式でありました。現代とちがって、遊びの要素の強いこの形式は、時代の経過とともに遊び的要素を切り捨て、純然たる文学表現形式になっていきます。

その典型例が、今回の展示会で紹介している、山口素堂の『とくとくの句合』です。この作品は素堂が自分の句に自分の句をつがえて判定したものです。素堂の作品を読むのに便利であるとともに、素堂の文学観を知ることが出来ます。

おそらく江戸時代を通して、これほど純粋な句合形式の作品集は、例をみないでしょう。また、素堂は隠者生活を送った関係上、自分の撰集というものがまったくなく、それだけに、『とくとくの句合』は、素堂を認識するための貴重な資料になります。

開催日 1月22日(日)、2月5日(日)
 時間 13時30分
 会場 ミュージアム都留 第2展示室
 *参加費は無料ですが、観覧券が必要。

都留文科大文学科近世文学研究室の学生が展示について分かりやすく解説をします。

ギャラリートーク



■12月17日(土)に行われたギャラリートークの様子。

作品紹介



『ディオニュソスとミダス王』 1976年(石版画)

増田誠美術館

企画展 「増田誠画伯が描いたギリシャ神話」

ギリシア神話をテーマにした油彩画・石版画の作品を展示しています。「ゼウス=ZEWS」や「トロイの木馬」などを展示します。是非ご覧ください。

会期:平成24年3月4日(日)まで 好評開催中
 開館時間:午前9時～16時30分
 会場:増田誠美術館(ふるさと会館2階)



『おうさまジャックとドラゴン』
 ビーター・ベントリー ぶん
 ヘレン・オクセンバリー え
 灰島 かり やく 岩崎書店

おうさまジャック、しょうぐんザック、チュッパおうじは、みんなで力をあわせて、おしろをつくりまします。ところが、おしろにドラゴンがやってきて…。わくわくしてこの本を読んだら不思議な力がでてくるかも。こども達の遊びの世界をとらえた一冊です。

『走れ! マスワラ』
 グザヴィエ=ローラン・プティ
 浜辺 貴絵 訳
 PHP研究者

心臓がいつ止まってもおかしくない娘の手術費用を手に入れるために、マラソン大会へ出場を決意するマスワラ。母を心配しながら、たびたび心臓発作におそわれる娘シサンダ。不思議な力をもつ祖母、そんな家族を見守る、学校や村の人たち。人と人のきずながあたたかい感動の物語。



今月のおすすめ Recommendation



『日本の田舎は宝の山 農村起業のすすめ』
 曾根原 久司 著
 日本経済新聞出版社

田舎の資源を都市のニーズと結ばば10兆円規模の新しい産業と雇用が生まれる!というのがこの本のメッセージ。見捨てられた農地や山林、空き家も新たな視点でとらえ直せば宝の山としてよみがえる。地域資源産業構想を打ち出す都市農村交流の実践書です。

『フラガール3.11 一つながる絆』
 清水 一利 著
 講談社

「日本中に笑顔、元気、希望をお見せします!」平成23年5月、フラガールたちは福島から全国へ飛び立った。偶然、3月11日にいわき市のスパ・リゾート・ハワイアンズで被災した筆者がフラガール達や社員へ継続取材し営業再開に至るまでの、道のりを描く感動のドキュメント。



■児童図書
 入園までにあそぶ力がつく1・2・3才おりがみ
 14歳からの精神医学 心の病気ってなんだろう
 印刷職人は、なぜ訴えられたのか
 「政治とくらし」大事典 全5巻
 池上彰のなるほど!現代のメディアちいさなりゅうと海のともだち
 黒ねこジェニーのおはなし
 なかよしゆきだるま
 おぼけサーカス ほか

■一般図書
 スティープ・ジョブズ1 ウォルター・アイザックソン
 大いなる謎平清盛 川口素生
 政治のことよくわからないまま社会人になってしまった人へ 池上彰
 年金生活者・定年退職者のための「確定申告」 ところ会計事務所
 これが本当の「冷えとり」の手引書
 「安全な食べもの」ってなんだろう? 進藤義晴
 あなたの知らない乳酸菌力 畝山智香子
 謎解きはデザイナーの後で? 後藤利夫
 東川篤哉 ほか

児童図書 全130冊
 今月の新刊
 一般図書 全240冊

開館時間 9時30分～17時15分
 ※火・水・木は19時まで開館します。
 ※10日(火)は17時15分に閉館します。

問い合わせ先 都留市立図書館 ☎(43)1324

1月の開館ご案内

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

○印が休館日です。

図書館だより



あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。今年も話題・注目の本をたくさん紹介していきます。お楽しみに!!

©都留市観光協会